令和5年度生活衛生技術担当者研修会(質疑応答)

| 自治体名 | 講義名 | 質問内容 | 回答者 | 回答 |
|--------|--|---|------------------|---|
| 福井市 | クリーニング業における新 業務形態とその衛生学的評 価 | 資料35ページにあるロッカーの細菌汚染の調査において、清掃頻度は1日に1回程度か。 | 北里大学 林講師 | 35ページの検討では、1日1回の清掃を行った。 ただし、これはあくまでこの研究における清掃頻度である。実際には1日に数回 だったり、数日に1回しか行わない店舗もあると考える。 |
| | 病院の冷却塔に起因したレ ジオネラ症集団発生事例に ついて | 7月9日の病院冷却塔の清掃業者による清掃方法の詳細を教えてほしい。 | 宮城県大崎保健所花烏賊講師 | X病院にある 2 機の冷却塔の内、夏だったため、 1 機ずつ稼働を中止しながら清掃を行った。 水槽内部の冷却水を抜水し、その後水槽内部及び充填剤を高圧ジェット洗浄機を用いて物理的清掃を行った。最後に充填剤などに次亜塩素酸ナトリウムを噴霧した。 7月9日は循環配管については行っていない。資料中7月9日及び7月23日については、冷却塔本体の物理的清掃のみ行った。 |
| | | 近隣住民の方の感染はどのように広がったと考えたらよいか。病院の冷却塔からのミストか。また、年1回の検査においては異常は認められたことはないか。 | 宮城県大崎保健所花烏賊講師 | まず、過去のレジオネラ属菌の検査結果では、レジオネラ属菌が検出されたことはなかった。 近隣住民の感染について、エアロゾルやミストの拡散は考えられるが、周辺住民の発症例と冷却塔との因果関係は科学的には明らかとなっていない。 しかし、受診歴のない十数人の内、その大半が自宅や勤務先が医療機関に近接しており、概ね3km以内となっている。現段階では、4人の患者由来菌株と冷却塔由来菌株との遺伝子パターンが一致している。 |
| 八戸市川崎市 | 病院の冷却塔に起因したレ ジオネラ症集団発生事例に ついて | 複合型冷却水処理剤と併用した殺菌洗浄剤は、どのような成分のもの(塩素系、過酸化水素系、グルタルアルデヒド、その他)をお使いになったのか。 複合型冷却水処理剤と併用した殺菌洗浄剤について、併用できないものの方が多いのか。具体的な薬剤などどのように調べたら良いか。 | 宮城県大崎保健所花烏賊講師 | 薬剤の取扱説明書によれば、複合型冷却水処理剤の殺菌成分は、チオール系の化合物と記載されている。併用した殺菌洗浄剤の殺菌成分は、オルソフタルアルデヒドと記載されている。 複合型冷却水処理剤の販売業者に問い合わせし、併用できる殺菌剤の成分がないかなどの確認を行った。殺菌成分以外にも様々な成分が入っているため、販売業者に問い合わせることをお勧めする。 |
| | 公衆浴場のレジオネラ対策 を目的としたモノクロラミ ン消毒の解説 | モノクロラミンの導入を検討すべき温泉のpHとアンモニア態窒素量 基準があれば、教えて欲しい。 | 国立感染症研究所 泉山講師 | 温泉のpHについては、5より上が必須となる。 アンモニア態窒素については基準がなく、その温泉サンプルにモノクロラミンを添加して、モノクロラミン消失の量と時間の程度から、適用の可否を検討している。 |

| 東京都 | | トコジラミについて、最近海外で増えているというトコジラミはト コジラミかネッタイトコジラミのいずれか。 | 日本環境衛生セン ター 橋本先生 | 報道されているのが、同定した上で駆除を行っているのか怪しいが、韓国やフランスなど温帯地域であることを考えれば、通常のトコジラミではないかと予想している。 (研修会後の回答補足) トコジラミに関する最近の論文を検索した結果、2024年に発行された論文では、2023年に実施された調査で、韓国国内でネッタイトコジラミの検出頻度が高まっているという結果が示されている。一方、フランスではネッタイトコジラミの2例目の発見事例が2021年に報告されているが、それ以降の報告は知られていないようである。 |
|--------|---------|---|------------------------|---|
| (関連団体) | る対策について | トコジラミの対策について、クリーニング業界では特にホテルの シーツ等を扱うリネン業でトコジラミの増加に伴う影響が懸念され ますが、クリーニング事業者やコインランドリー施設などでの相 談・駆除件数に関するデータや傾向はあるか。 | 日本環境衛生セン ター 橋本先生 | そういったデータは業界団体の方が多く持っているのではないか。 |